

5/25 朝日

## 保険証の原則廃止を検討

### 政府「マイナカードに一本化方針」

健康保険証を将来的に原則廃止し、マイナンバーカードに一本化する方向で政府が検討に入った。6月にまとめた「経済財政運営と改革の基本方針」（骨太方針）に明記することも合わせて調整している。マイナンバーカードが利用できる

設備導入済みの医療機関は全体の2割弱にとどまるため、整備を急ぐ考えた。

健康保険証とマイナンバーカードをひもづけた「マイナ保険証」は、デジタル化を進める政府が昨年10月に本格導入。マイナ保険証を読み取るカードリーダー

を設置した医療機関や保険薬局で使うことができ、過去に処方された薬や健診などの情報が確認できる。

ただ普及は大幅に遅れていた。政府は今年度末までに、原則すべての医療機関と保険薬局で導入する目標を掲げるが、5月15日時点では19%。利用者も少なく、マイナンバーカードを持つている約5590万3千人

を登録した人は約15%だ。

政府はマイナ保険証の利用環境を整えようと、今後1、2年をめどに医療機関側に対する設備導入の義務化などを検討中。将来的に健康保険組合などが発行する保険証をなくし、マイナ保険証への統一を目指す。

また、マイナ保険証を使うと患者の利用者負担が割高になる診療報酬の加算の見直しも進める方針。

（村井隼人）